

仕事に追われて右往左往。身の回りは荒れ、気が付けば「忙しい」しか口にしていない。ふと我に返り隣を見るとき、同じことをしているのに何とも余裕ある人がいる。口元に微笑みすら浮かんでいるような気がする。いいなあ、羨ましい。一体自分と何が違うのか。羨望の眼差しを知つてか知らずか、さらりと声がかかる。「なにか、手伝い

ましようか?」トドメだ。
ああ、いいなあ。

ゆとり教育という語が出てからあまり良い意味に扱われない「ゆとり」。ゆったり、ゆたけり(豊けり・寛けり)が語源と考えられていて、余裕がある人は、余裕が自然

である。

と、同じことをしているのに何とも余裕ある人がいる。口元に微笑みすら浮かんでいるような気がする。いいなあ、羨ましい。一体自分と何が違うのか。羨望の眼差しを知つてか知らずか、さらりと声がかかる。「なにか、手伝い

杜のコラム

ましようか?」トドメだ。
ああ、いいなあ。

お寺でお泊まり会



八月二十三・二十四にて本年度二回目の「お寺でお泊まり会」が行われました。約30人が集い、二日間にわたるプログラムを楽しみ、会の終りには僧侶から興正寺キッズの表彰状が手渡されました。

貯金の大原則は「先取り」だとある人、では決してない。ゆとりを作るよう、意識を持つ努力している人なのだ。羨む前に、まずその行動から見つめよ、である。

貯金の大原則は「先取り」という。必要な分を先に取り、残ったお金を差配する。好きなだけ使つて残れば貯金、では永久に貯められないのだそうだ。同様に、いつも余裕がある人は、時間の「先取り」をしているように思う。いま何を、何からしなければならないか。大切なものの順序立てがしっかりと決めているから、その行動は淀みない。

言うは易し、行うは難し。この場合、最も重要なのは自分が何をどれくらいの時間と力でこなせるのかという点だろう。ここで己に見栄を張つても仕方がない。自分を正しく見積もることが出来なければ、時間の「先取り」は永久にできぬ。時間は皆に等しく有限である。差が出るのは、その使い方だ。

思い通りにいかない日々が続いたら、まずは心の余裕を持つため

八事山文庫

2910号

特集

千燈祭	2ページ
法類寺院紹介	9ページ
八事今昔物語	11ページ

10/7(土)・13(金)・19(木)

毎月第1土曜、第2金曜、第3木曜にて開催予定 お坊さんダイレクト

一仏事の疑問に僧侶がホンネで答える新スタイル相談会

光明殿1階 永代供養・葬儀受付にて

10時~15時 完全予約制(ご相談時間1時間ずつ)



「こんなことを聞いてもいいの!」「そんなこと聞いたら恥ずかしくないかしら!」ご安心ください、そのお気持ちが大切です。仏事に関するご相談、身近な興正寺に聞いてみませんか。宗旨宗派に関わらず興正寺では葬儀手配が可能です。

また、永代供養の相談や墓じまい・仏壇じまいの疑問など、僧侶にご相談なさりたい方、ぜひご予約ください!

☆web予約あり 電話予約も可 052-832-2801

秘仏開扉特別祈願会
10時~14時
特別祈願料 千円



西山観音堂 秘仏開扉

開扉法要 9時より 西山観音堂にて

10/5(木)・13(金)

西山観音堂のご本尊・正觀世音菩薩は尾張徳川家秘蔵の秘仏であり、年に一度、この一日間のみ御開帳となります。ぜひ正觀世音菩薩との縁縁をお結びください。



11/8(水)

大日堂収穫祭

12時30分 大日堂にて

春にみなさまと植えた芋の苗。よい秋の収穫です。大きくなっています。土を触ります。でもご参加できます。お越し下さい。



(写真はイメージです)

着付け無料体験

毎月21日 興正寺マルシェの日
(※開催については茶室竹翠亭まで)

茶室竹翠亭で
受け付けています

洋服の上から帯結びを
体験できます

予約・持ち物不要
男性もどうぞ

千基の法灯で祈りを捧ぐ 千燈祭

平成29年度プログラム

10月7日

さいとう おおご まきとう
柴燈大護摩祈禱 大護摩壇の炎を天まで届け、火渡りや
加持で私たちをお守りいただきます。

- 15:00 和太鼓奉納
(於 平成大仏前/知多平島和太鼓こころ会)
- (日没頃) 頼い燈籠・供養燈籠点灯
- 17:00 披露株(借出披露)(於 西山本堂前よりご覧いただけます)
- 17:15頃 僧侶・稚児行列出発(於 参道)
- 17:45 柴燈大護摩祈禱開始(於 大日堂会場)
柴燈大護摩壇点火・稚児祈祷・和太鼓奉納
(於 大日堂会場)
- 特別大護摩祈禱
※ 特別護摩木を自らの手で授じていただきます。
火生三昧(火渡り)
※ 特別護摩木を授じられた方がご参加いただけます。
- 19:00頃 千燈祭終了

※ スケジュールや内容は都合により変更になる可能性があります。
※ 雨天時の稚児行列は普門前にて施行いたします。

見晴らし茶席

(於 見晴らし茶席)

真言秘奥 柴燈大護摩祈禱 大日堂前
【見どころガイド】

其の一 山伏問答
護摩壇を加護する山伏と問答で智慧比べ。「自分はこういう者です。柴燈大護摩供に参加させてよ。」と始めますが…そこは真言秘奥、簡単には通してもらえない。

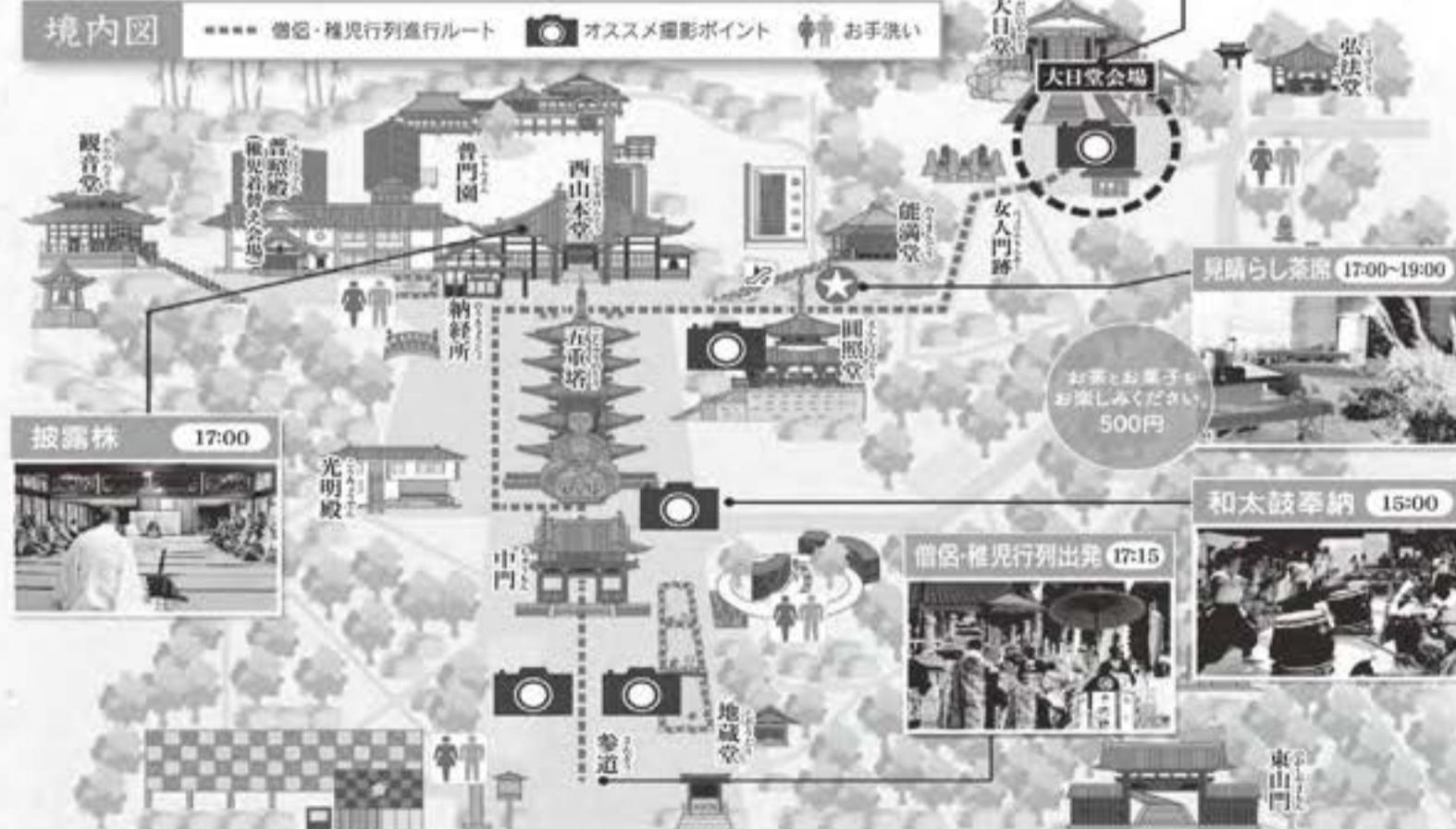


其の二 宝弓之儀
護摩壇に火を灯す前には悪いものが入らないよう、煙や劍で清め結界が張られます。山伏が放った矢を受け取った方は持ち帰り、家の厄除破魔矢として祀ります。



其の三 真棒を燃やせ!!
總本尊大日如來主の智慧の火を松明に灯し、柴燈大護摩供にて祈願の「願文」を参読します。護摩壇の煙には御利益があります。
甲斐い上がる火の粉にはご注意ください。

境内図



祈願

願い燈籠

要申込



施主様の難を除き、その願いを天に届けるため奉納する燈籠です。

僧侶が大護摩壇前にて願意を読み上げ祈願いたします。

【祈願料含む】
3,000円(一願一燈)

供養

供養燈籠

要申込



先祖の御靈を供養するために一つずつ手作りされる燈籠です。仏の智慧の光で供養します。

◆ 燈籠(特別護摩木・御札付き)

【供養料含む】2,000円(一靈一燈)

◆ 燈籠のみ

【供養料含む】1,000円(一靈一燈)

寺

通

その四十

高野 正清

そして幸いなことにこの報告書を理解し、その重
大性を進言できる人物が存在していました。一緒に
遣唐使として海をわたり、一足先に帰国していた最
澄です。お大師さまの「御詔來目録」を目にし、密教
のほぼ全てが日本へ渡ってきたことを、最澄は知る
のです。

*** 真言宗を開く ***

興正寺十月の一大行事と言えば「千燈祭」。十月七日はぜひ
ひご参拝ください。

さて、唐でのたくさん学びと出会いを経て密教の正当な
継承者となつたお大師さま。惠果和尚の遺言に従い、教えを
日本に広めるためとはい、二十年間の留学予定を二年で
切り上げての帰国となりました。さて、戻った日本ではどん
なことが待つているのでしょうか。

*** 御詔來目録 ***

店から船に乗ったお大師さま。帰りの航路でも何度も風に遇い、今にも船が沈
まんとした時、右手に不動明王の剣印、左手に索引を結び、口に真言を唱えて波
を鎮め、大同元(806)年十月、無事九州は博多の地に帰りました。

約束を過えてたつたの一年で帰国したとあっては、罪にも問われかねない状況
です。しかしお大師さまが学び、持ち帰ってきたものは十分にそれをひっくり返
す価値がありました。

帰国後、お大師さまは挨拶を添え報告書である「御詔來目録」を朝廷に提出し
ました。唐より持ち帰つて来たものが列挙され、經典類だけでも二十六部四六一
巻、両界曼荼羅などの図像を十軸、その他に多くの密教法具や惠果和尚からの
土産などが記されていました。それまで唐へ渡つた僧侶が持ち帰つて来たものは
經典や仏像のみ、比較して注目すべきはその多彩さです。密教は、これまで伝わつ
てきた仏教のように坐して經典や注釈書を読み理解するものではない。梵字真
言を唱え、曼荼羅を飾り、法具を並べ儀礼をすることによって密教を広めていく
のだ、というお大師さまの意思表明でもあつたかもしません。



△嵯峨天皇



△満濃池(香川県仲多度郡まんのう町)

お大師さまには困っている人を助けてくださった
という、沢山の言い伝えがあります。

大日照が続いたとき、雨乞い祈祷をして三日三
晩の甘露の雨を降らせた「神泉苑の雨乞い」。貴族
だけではなく誰でも学べるようにと作られたのが
「綜芸種智院」という学校。「いろは歌」もお大師さ
まが考えた、と言われてきました。雨風すぐに堤
防が決壊する池の改築作業を僅か三ヶ月で成し遂
げた「満濃池」での工事。こうしてみると、僧侶とし
てだけではなく、学問、土木と多方面に活躍をされ
ていたことが垣間見えます。これらはいずれも有名
なお話しさかりですので、ぜひ一度調べてみてくだ
さいね。

多くの人を救い、業績を残されたお大師さま。そ

の後、弘仁七年(816)年、真言宗の根本道場を高野
山に建立したいという旨を朝廷に願い出ます。唐よ
り帰国して十年が経つていました。

南無大師遍照金剛

*** 衆生救済 ***



△8月11日 興正寺施主懇意法会



△8月12日 初盆合同供養会



△8月14日・15日 盆踊り



△8月15日 精霊流し



△8月14日・15日 特別星茶「花水の席」



△8月16日 大施餓鬼法会

孟蘭盆会諸法会が興正寺にて厳修されました。八月十日からはじまった合同供養会期間中は、先祖さまのご供養にと、大変多くの方が参拝に訪れました。山内各所にはお盆に祖先を迎えるために作られる精霊棚も置かれ、興味深そうに写真を撮る姿も見られました。

平成二十九年度 孟蘭盆会



△御靈供膳

八事山歳時記

観音堂九万九千日

参拝をすれば功徳が九万九千日分にも広がるとされる九万九千日法会が、去る八月十日に興正寺西山銀音堂で厳修されました。真夏の日差しの中、訪れた参拝者は觀世音菩薩との勝縁を結ばれました。



お寺でお泊まり会

今年二回目となる、小学生を対象にした一泊二日の「お寺でお泊まり会」が行われました。子どもたちは、花火や肝試し、ワークショップなどの楽しいレクリエーションのほか、朝のお勤めや食事作法などお寺ならではの事も体験しました。初めは緊張の面持ちだった子どもたちも、本堂での閉会式のときには笑顔いっぱいになっていました。またのこ





子ども寺子屋くらぶ「夏のおたよりを書こう」

八月二十四日、「夏のおたより」をテーマに、子ども寺子屋くらぶが行されました。子どもたちは届ける相手を想いながら夏の思い出を一生懸命に言葉にし、葉書へと綴りました。その後、流しそうめんを囲み、地蔵菩薩大祭縁日に参加して、思いきり夏の終りを楽しむ一日となりました。

終活道場（特別篇）

九月九日に終活道場が開催されました。本年は、「死生観」を考
える、お寺だからできること」をテーマに、自らの「死生観」を問いかける
作務や瞑想の時間を通じて今の自分を見つめ直す時間を過ごしていただけ
るとなりました。



梵風が魔を吹き飛ばす
大般若經転讀

九月五日、西山本堂にて
大般若經転讀祈禱会が厳修されました。大勢の僧侶によつて転讀される六百巻もの經典が起こす風(梵風)は、魔やケガレを吹き払うと同時に經典の功德を授けると言われています。古くより五穀豊穣や國家安寧を祈願し執り行われてきたこの大法会は興正寺では一月・五月・九月の年に三度、行われます。



地藏菩薩大祭緣目

去る八月二十四日、地蔵菩薩大祭縁日が儀修されました。お集まりいただいた皆さまでおつとめした後に、菓子まき、大数珠おくり、僧侶による「かつば地蔵」の紙芝居が行われました。「お寺でお泊まり会」の子どもたちも加わり、多くの方にご参加いただいた和やかなご縁日となりました。

九月五日、西山本堂にて
大般若経転読祈祷会が厳修

梵風が魔を吹き飛ばす
たいほんにゅまくう



△右が代表の初山さん。左がチームリーダーを務める長女・えりさん。



△知多半島和太鼓こころ会。千燈祭での大護摩の炎のような力強い奉納演奏は圧巻。



●初山祐子さん

最初は趣味で始めた和太鼓。長女えりさんの小学校のクラブ活動で和太鼓を指導したことがきっかけとなり、「知多半島和太鼓こころ会」を結成した。

毎年十月に行われる千燈祭・大護摩の炎のもと、僧侶達の高らかなお経の声と共に勇壮な和太鼓の音色が響く。その和太鼓を演奏するのが「知多半島和太鼓こころ会」だ。代表を務める初山さんにお話を伺った。

今から二十二年前、和太鼓が大好きな子ども達のために誕生した「知多半島和太鼓こころ会」。大きな音のせいで練習場所が制限されるため、色々な場所を転々しながら練習していた。「あるイベントで演奏した時、その場にいらした方が、私たちの演奏をとても気に入ってくれました。その時に『何か困ったことはないか?』と聞かれたので、音の問題で練習場がなくて困っていることを話

すと、現在の練習場を無料提供してくれたんです」と、初山さん。そのご縁で、興正寺僧侶の泰澄さんとも知り合って、興正寺での和太鼓の奉納演奏をお願いされたことになったそうだ。

「お坊さんとコラボして演奏するなんて、その時に初めて経験しました。普段のイベントでは、お客様に見せる意識で演奏しているんですが、興正寺の千燈祭の時は、気が引き締まるというか、見せるというよりも、僧侶の皆さんと一緒に仏様に奉納するという気持ちで演奏しています」と、演奏者でチームリーダーを務める初山さんの長女・えりさんは言う。そんな経験から、薬師如来の真言を取り入れた「神」という曲も生まれ

人と街とお寺をつなぐ場所 八事山文庫 地域版

神無月 かんなづき 旧暦十月のこと

神々をまつる「神の月」

新穀や酒を醸す「醸成月」

かんなづき 旧暦十月のこと

寒露 かんろ 十月八日

夜が長くなり、露がつめたく感じられる頃、朝夕の冷え込みが始まるが、空気は澄み秋晴れの日が多くなる。

霜降 さちこう 十月二十二日

朝夕の冷え込みが強まり、山里や北国では霜が降り始める。露は霜へと変わり、段々と冬が近づいてくる。

親子で読みたい ことのはあそび

「身口意」。
身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介します。

あの子 かなわんねん
かくれて おどかしやるし
そうじは なまけやるし
わるさばっかし しやんねん
そやけど
よわい子オには やさしいねん
うち 知つてんねん

あの子 かなわんねん
うちのくつ かくしやるし
ノートは のぞきやるし
わるさばっかし しやんねん
そやけど
ほかの子オには せえへんねん
うち 知つてんねん
そやねん
うちのこと かまいしたいねん
うち 知つてんねん



「うち 知つてんねん」島田陽子

軽快な大阪弁でテンポよく読める詩ですが、作者の島田陽子（一九二九～一〇一二）は東京都出身。11歳から大阪府に在住しました。歌謡曲や合唱曲の作詞も多く手掛け、一九七〇年の大阪万博テーマソング「世界の国から」などは多くの人に愛され、時代の応援歌となりました。



サルスベリの花房

昨日 今日 あした…
八事のお山の

雨の多かつた夏が過ぎ、秋
がやってきました。今月の写
真1枚目はまだ残暑厳しい
8月の下旬に、真っ先に届い
た里山の栗の実です。昨年は
全滅でした。早速仏様へ御供
えました今年最初の秋の便り
かいサルスベリの木。今年もし
かり咲いてくれて、花房の重
みで枝が地面に着きそうに
なっていました。通行の邪魔

は、世話不足にもかかわらず
大きなか実でした。2枚目は白
いサルスベリの木。今年もし
かり咲いてくれて、花房の重
みで枝が地面に着きそうに
なっていました。通行の邪魔



今年初の栗

●甘味・食事処「八琴庵」より



5・13・21日限定 季節のそば(10月)

観月そば 旧暦の8月15日に収穫物を月に備える風習にならい、秋に収穫し
供えられていた里芋を月に見立てた蕎麦をご賞味ください。

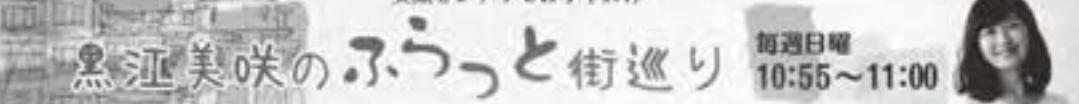
八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 9:00~16:00 (L.O.15:30)

定休日 毎月5日を過ぎた火曜日 10月は10月10日(火)、11月は11月7日(火)です。

FMBO.7に、知っているお店が登場するかも? 八事山興正寺の提供でお送りするFM新番組!

笑顔とシアワセおすすめわけ



毎週日曜
10:55~11:00

黒江美咲のふうっと街巡り

貴重な街にはその街の記憶を語る先人がいて、その話を聞いて育った、地元を愛する人がいて、
その街に残されて集まる人がいて、街の歴史に新たなページが加えられます。

そんな「もっともっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた八事山興正寺提供の番組です。

バージナリティ: 黒江美咲

9/3 昭和警察署八事交番 TEL.052-852-0110(昭和警察署)

街の案内から地域の防犯まで、日々の活動のお話し。

9/10 八事の“杜”的おはなし

駅から3分の森林浴…、自然を護ることのお話し。

9/17 盆栽専門店 天白さつき園 TEL.052-831-7660

日本文化として世界からも注目される「盆栽」のお話し。

9/24 日本樹木医会愛知支部 TEL.0565-28-2601

樹のお医者様、樹の声を聴く樹木医さんのお話し。

ラジオは右記のページからお聞きいただけます。http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/

仏事の

ひ、み、みい



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみるとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その33 人形・仏具の供養②(全3回)

今日はまず「精」の話をしましょうか。



しよう?

「精」とは、簡単に言えば「心」のことです。
お仏壇や位牌をはじめて置くときには、
お坊さんが「お精入れ」をして、そこに
亡くなられた方の心を宿します。

お人形には心が宿るって聞いたことがあります!

お引越しや仏壇じまいの時は、この反対で「お精抜き」をします。仏さまや、亡くなられた方に礼を尽くして失礼がないよう、きちんと「お精抜き」をしてから移動させなければなりません。おうちまでお坊さんが行くことができますから、困ったときはお寺に電話してみてね。

興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバッと解決!
トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!

石碑でめぐる歴史浪漫

九 埋もれた至宝 興正寺石造物群

【其の二】興正寺最高のパワースポット 一九品台

大日堂への参道を出た歴代住職の墓所の少し手前で、三十秒だけ静かに目を閉じてみてください。興正寺の森を通り抜ける風の動きとともに、仏さまの声が聞こえます。右手からは六体の阿弥陀如来、後ろからは阿弥陀如来を中心に六觀音・六勢至菩薩、左手からは薬師如来・阿弥陀如来・釈迦如来など千体の仏さまの声が。そうです、ここは九品台。私たちが極楽浄土へ生まれる時の場所なのです。

上品上生から下品下生までの九段階。私たちがどのように生きようとも、心から「なむあみだぶつ」と唱えれば、それぞれ生き方に応じて九体のいすれかの阿弥陀如来に迎えていただけるのです。生きるためにとはい、不善を行ない地獄への道を歩む私を、觀音・勢至菩薩が姿かたちを変え極楽への道をサポートしてくださるのでです。

「人孤ならず、必ず隣あり」の隣は観音菩薩かな、と思うとホッとします。

左の歴代住職の墓所からも声が聞こえます。そうです。開山天瑞和尚の声です。周りには竹翠亭の襖に描かれている弟子たちがいます。五世諦忍和尚と和尚から受戒し、念佛を唱え、無念の心を消し去つて極楽往生された尾張徳

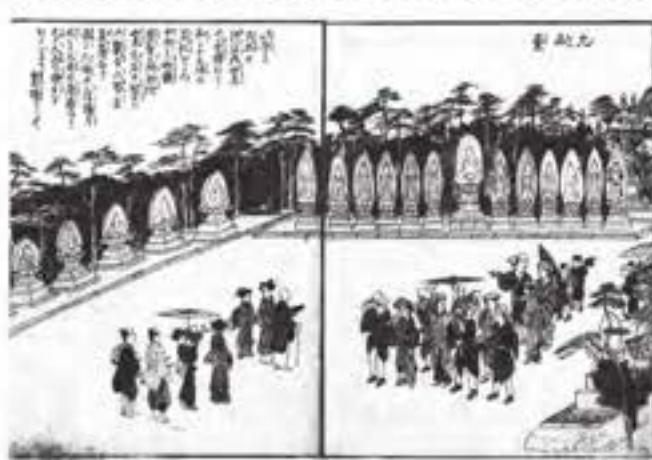
川家七代藩主宗春公の声もします。ま

たその隣は少し脇やかです。七世真隆和尚の周りには、五重塔建立を願つて三年間毎月十文を欠かさず納め続けた大勢の町人が集っています。みんな言っています。「待っています。でも急がなくていいよ。」と。

三十秒たつたら目を静かに開けます。それぞれのパワーを受け止めながら前に進めば、そこは「善聚界」。

ここに入っただけで人は善い心となると言われるところです。

見上げれば総本尊 大日如来さまがまついらっしゃいます。（小出）



△『絵本音聞山』に描かれた200年前の九品台の様子

千燈祭 見晴らし茶屋

興正寺最大の行事「千燈祭」で、行列を見るのに絶好のポイントでの呈茶席です。

日が暮れると、参道に並べた燈籠の灯りが境内にゆらめくさまをご覧いただけます。

- ◆日 時 10月7日(土)17時~20時(L.O.19時30分)
- ◆場 所 エスカレーター横「見晴らし台」
- ◆料 金 500円(そば茶と季節のお菓子)

月見のしつらい「十五夜」

日本の伝統や文化を四季折々に感じていただける竹翠亭の「しつらい」。今年の仲秋の名月は10月4日です。季節の移ろいを愛でにお出かけください。

- ◆期 間 10月2日(月)~10月6日(金)
- ◆時 間 10時~16時 ※10月5日のみ9時~16時
- ◆場 所 興正寺茶室 竹翠亭
- ◆拝観料 500円(呈茶付)

竹翠だより お茶が教えてくれた しあわせ

普門園には、「雲を耕す」と書くお茶室「耕雲亭」があり、その前に植えられた萩の花が今年もきれいに咲きました。お茶のお稽古を始めたばかりの頃、「こぼれ萩」と答えられました。こぼれ萩・初めて耳にする言葉です。

家に戻り、早速調べてみると、「散り落ちる萩の花を表した言葉」とあります。花は命を終えるとき、「枯れる」「散る」とばかり思つていましたが、萩の花は「こぼれる」。しなやかな萩にふさわしい表現の美しさに感動したことを覚えています。

他の花は、何と言うのだろう…

桜は、舞う、散る

梅は、こぼれる

朝顔は、しほむ

椿は、落ちる

牡丹は、崩れる

それぞれの花に、それぞれの呼び方がありました。

咲くときは、それほど呼び方は無いように思います。私たちを和ませてくれた花の散り際を惜しみ愁しむ気持ちが、それぞれの表現となつたのでしょうか。

初めて「お茶が教えてくれたしあわせ」を感じた瞬間 だつたかも知れません。萩の花がこぼれる頃、いつも思い出します。

秋の野に咲たる花を 指折り

かき數ふれば 七種の花

萩の花 尾花 葛花 撫子の花

女郎花 また藤袴 朝靄の花

「こぼれ萩」

法類寺院紹介

法類寺院とは?…互いに密接な関係をもつ寺院で、かつての師匠と弟子などの繋がりを持つ場合も多い。お寺の親戚関係。

医王山 神宮寺 (名古屋市昭和区御器所)

【寺院プロフィール】

- 寺院正式名/医王山 神宮寺
- 創建・開基・開山/嘉祥3年(850年)創建 開基 仁明天皇 開山 成惠僧都
- 宗派/真言宗豊山派
- 本尊/薬師如来
- 所在地/愛知県名古屋市昭和区御器所4-4-22
(※wikiに「神宮寺(名古屋市)」で記載あり)

【寺院データ】

- 伽藍数(土地の大きさ)
本堂(薬師堂)、観音堂、地蔵堂、福荷社、御厨堂【約880m² 270坪】
- 文化財/
戦火のため多くの宝物は消失。
12年に一度御開帳の不動明王像は鎌倉時代と言われる。
- 領布品/
御朱印、絵馬(やっこの形)、こども守り



△神宮寺本堂



△絵馬とこども守り

神宮寺の三井正優僧侶にお話しをお伺いしました。

— 神宮寺の由緒を教えてください。

もとは熱田神宮の鬼門除け鎮護修法所として、常磐山神護寺の名で創建されたとされ、仁明天皇の勅願寺として、高野山の僧侶成恵僧都により開山されました。嘉元2年(1304年)、雷火により諸堂が焼失し、現在の御器所へ移転。御器所最古の寺であるといわれています。嘉吉元年(1441年)に境内地に八幡大菩薩をお祀りし、現在の御器所八幡宮となります。かつては熱田神宮から八事への道すがら、誰もが立ち寄りお参りしたお寺だったそうです。たびたび火災に見舞われ、荒廃した時代もありましたが、明治の神仏分離以降八幡宮と別れ、高野山より持命を受けた尼僧によって復興されました。その後転派して、現在は真言宗豊山派の寺院です。



— 興正寺との関係を教えてください。

創建から高野山との関わりが深く、興正寺とも法類寺院で、お寺の親戚関係のような関係です。

— 神宮寺のすばらしさについてアピールをお願いします。

なによりも、特別行事として毎年11月8日の縁日には秘仏・本尊薬師如来を御開帳し「やっこ餅祈祷」があります。本尊の持つ薬壺(やっこ)が餅に変わった餅を吃了したという故事により、「除病安樂」のご利益ある餅が数多く奉納され、振る舞われます。一歳までの子供が一升餅でつくられたやっこ餅を背負って歩けば「一生食うに困らなくなる」という一升餅祈祷会は、遙か遠方からも御祈祷に訪れます。午後は大人の部「やっこ餅祈祷会」が行われます。この日は、約100名ほどの参詣者で境内が賑わいます。また定例行事として、毎月1日10時半より護摩祈祷会・大念珠繰り・法話があります。また予約制ですが、毎日10時~16時までお堂で写経体験もできます。新しく取り組んでいる活動としては、「いちにち寺子屋」として、シニアヨガ・太極拳、また地域のサロンとして陶芸教室などもおこなっています。

(取材・文責 桐田英伸)

身
體
健
全
祈
禱
會

尾張徳川家の祈願所

興正寺の七五三

へ要予約▼

平成29年度 合同祈祷会

日時 11月3日(金祝) 4日(土) 5日(日) 11日(土) 12日(日)
18日(土) 19日(日) 25日(土) 26日(日)

◎各日 10時/11時/12時/13時/14時/15時 開始

●お参りのため、12日10時~15時/26日15時 の間はございません。
●詠み合は場合はお待ちいただけの場合があります。(予め優先)

平成23年生まれ(七歳)、平成25年生まれ(五歳)、
平成27年生まれ(三歳) 漢年齢でも受付いたします。

料金 5,000円 御幣(お子さまのお名前入り)・御守・千歳札付
(御幣別での御祈祷をご希望の場合は現金申込み、お問い合わせください)

合格祈願

虚空蔵菩薩

合格

八事山 興正寺

日程
平成29年
12月 11月 10月 8月
10月 24日 26日 22日 21日



その他、諸堂の参拝時間・各受付時間は当ページ下部をごらんください。

(受付時間) 8時～17時

取り扱い
御朱印・御守・おみくじ・
その他授与品

興正寺納経所

至自	平成二十九年	六口	渡邊清子
平成二十九年	八月一日	四口	高木嘉子 齋田博子 小林康友
	三十一日	二口	土方富雄 足助 操水野真理子
		一	田村 文
		二	（順不同 敬称略）

ありがとうございました。
心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

地蔵盆葉子まき葉子奉納
ご芳名

八事山 興正寺 受付時間のご案内

祈祷・供養(葬式・法要)	9時～16時 (最終受付15時30分) ◆予約優先◆	当日受付はお待ちいただけ事があります 毎5・13・21日の朝日や仕事日は予約をお受けできません。 報告がございます
納経所(受付)	8時～17時	御守・御朱印・おみくじ・その他授与品の取り扱い
永代供養受付	10時～17時 (最終受付16時30分) ◆予約優先◆	毎週火曜定休 毎月5日・13日・21日は行事日を除く
甘味・食事処 八學庵	10時～16時 (最終受付15時30分)	毎月5日を過ぎた火曜定休 毎月5日・13日 9時～
普門閣(茶室 竹翠亭)	10時～16時 (最終受付15時30分)	拝観料 500円(茶室竹翠亭での屋外付/不定休) 毎月5日・13日 9時～
寺務所	9時～17時	[現金取扱いの方は10時～16時]

各堂の参拝時間 (お堂の外からの参拝は24時間可能)

諸堂	開一室(室内参拝可)	開廊
西山本堂 御講壇・法説会堂	毎日 8時～17時 午後会中はお待ちいただけ事があります	-
大日堂	ご縁日毎月8日 12時30分～14時	-
延壽堂	ご縁日毎月24日 13時～14時30分	左記開堂日程外 9時～16時
奥之院	ご縁日毎月15日 13時～14時30分	-
觀音堂	ご縁日毎月18日 13時～14時30分	左記開堂日程外 9時～16時
弘法堂	ご縁日毎月21日 10時30分～12時	-
不動護摩堂	ご縁日毎月28日 14時～15時30分	-

法会行事等により変動する場合がございます。ご了承ください。

靈龕堂の参拝時間 (下記行事以外の通常時/開堂8時～閉堂17時)

行 事	日 程	開堂～閉堂
年末年始	平成28年12月31日～平成29年1月3日	7時30分～17時
春季彼岸	3月17日～23日	7時30分～17時
観音会	6月10日	8時～20時
七月堂	7月13日～15日	7時30分～20時
八月盆・施餓鬼	8月10日～16日	7時30分～17時
秋季彼岸	9月20日～26日	7時30分～17時
観月会	10月4日	通常時同様の参拝時間となります (平成29年8月21日付変更)
千燈祭	10月7日	8時～20時

※1) 19時より合同法要のある日は供養会終了時まで

圓照堂の参拝受付時間

(下記行事以外の通常時/9時～17時 最終受付16時30分)
※圓照堂本殿は開堂8時～閉堂17時

行 事	日 程	本堂開堂～本堂閉堂	拉牌・お骨出し
年末年始	平成28年12月31日～平成29年1月3日	7時30分～17時	事前予約制
春季彼岸	3月17日～23日	7時30分～17時	事前予約制
観音会	6月10日	8時～20時	9時～19時30分
七月堂	7月13日～15日	7時30分～20時	事前予約制
八月盆・施餓鬼	8月10日～16日	7時30分～17時	事前予約制
秋季彼岸	9月20日～26日	7時30分～17時	事前予約制
観月会	10月4日	通常時同様の参拝時間となります (平成29年8月21日付変更)	
千燈祭	10月7日	8時～20時	9時～19時30分

※1) 19時より西山本堂で合同供養会のある日は供養会終了時まで

※2) 受付時間については、お問合せください。

10月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

■ 仏讃歌

御詠歌上級

10月16日・27日 13時30分より
光明殿
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

講師 鈴村隆弘

御詠歌初級

10月8日・21日・29日 14時より
光明殿
金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

講師 鈴村智弘

御詠歌入門

10月7日・22日 14時より
光明殿
金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

講師 鈴村智弘

■ 体験する

阿息観(密教禪)

10月10日・20日・30日 14時より 普照殿／奥之院
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

講師 杉浦宣秀

阿字観

今月はお休みです
奥之院
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

講師 杉浦宣弘

写経・写仏

10月21日 11時より
光明殿
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

講師 横田英伸

■ 学ぶ

佛教入門講座

10月26日 14時より
普照殿
難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

講師 森田泰澄

仏典読み解き講座

10月18日 10時より
普照殿
仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

講師 横田英伸

■ 健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

10月13日 ①10時②11時30分より 普照殿
支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

10月21日 10時より 観音堂
支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

マタニティヨガ

今月はお休みです
普照殿
支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

■ 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

10月10日 講師 西山海良 支具料1,500円

阿息観

10月24日 講師 西山海良 支具料1,500円

日々折々の書

10月23日 講師 中村 均 支具料2,000円

水墨画

10月27日 講師 山田静舟 支具料2,000円

きもの装い(入門・応用)

10月11日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

茶の古典を読む

10月12日 講師 横田英伸 支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

八事今昔物語～そこにお寺のある暮らし②～

暦は偉大な先人が残してくれた、とても大切な知識の大成です。中国から戴いた暦が日本の風土に合わせて少しずつ改正され、明治まで使われていたものを、現代では旧暦と呼んで當山でも行事を決める大切な目安にしています。旧暦は月の動きを元にして、新月(月は見えません)を朔日、3日目の月を「三日月」と呼んでいき、15日はほぼ満月でした。十五夜お月さんですね。満月の次の日は「十六夜」などと風流な名前で呼びました。當山では、かつて中秋の名月の日は、千燈供養会という行事でしたが新暦の現在、観月会を行います。農耕を主とするご先祖様は、月の動きと太陽の動きから季節の区分を春夏秋冬から、さらに細かく分けました。それが二十四節氣と呼ばれるものです。これは季節感から生まれた物。あえて大ざっぱに言いますと一年を15日毎にグループ分けをして、「立春」や「秋分」「啓蟄」「大暑」など、なじみある言葉で区別しました。日本人にとって、一年の初めは春、つまり立春でした。前述の通り1日は新月ですから立春=1月1日ではありませんよ。「節分」は季節の分かれ目である立春立夏立秋立冬の前の日のことですが、今のように2月の節分だけが突出しているのも、私たちが大晦日までに大掃除を済ませて正月を待つように、江戸時代の人々は春の初めを、厄を祓い鬼を退治し、己をきれいにして迎えてきたから。興正寺でも2月3日は「厄払い祈禱」として豆まきを行い、大勢の人が厄を祓い、さらに星供養の御札を授与され一年の厄災を祈ります。だから「節分豆まき」はお寺の大好きな行事なんですね。(井上)

興正寺行事カレンダー

10月

普門圓拝観時間 10:00~16:00
休園日／1日(日)・7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)14日(土)・15日(日)
20日(金)・21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)・30日(月)

月	火	水	木	金	土	日
25 先勝	26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安	30 赤口	1 先勝
2 友引 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	3 先負 ★永代供養受付定休日	4 仏滅 ☆親月会 (月見団子祈祷)	5 大安 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ○觀音堂秘仏開屏 9:00 開屏法要 10:00 秘仏開屏 特別祈願会 大隨求明王	6 赤口	7 先勝 ○千燈祭 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	8 友引 寒露 ○大日如來縁日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 ○合格祈願会 14:00 能満堂 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 大日如來
9 先負 体育の日 ★八重庵定休日 ★永代供養受付定休日	10 仏滅 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★八重庵定休日 ★永代供養受付定休日	11 大安 ▽遊翠の心きもの装い 10:00 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽想耕茶会 11:00 12:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	12 赤口 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸	13 先勝 ○虛空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ○觀音堂秘仏開屏 9:00 開屏法要 10:00 秘仏開屏 特別祈願会 ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿 虛空藏菩薩	14 友引 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	15 先負 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之堀おくり 阿弥陀如來
16 仏滅 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	17 大安	18 赤口 ○觀世音菩薩縁日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話 △仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ★永代供養受付定休日 觀世音菩薩	19 先勝	20 先負 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 仏滅 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 △写経写仏講座 11:00 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 ★TERA-YOGA 10:00 親音堂 要予約 弘法大師 興正寺マルシェ	22 大安 ○合格祈願会 14:00 能満堂 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
23 赤口 霜降 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ★永代供養受付定休日 地藏菩薩	24 先勝 ○地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大歎珠おくり/紙芝居 ▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★永代供養受付定休日	25 友引 ★永代供養受付定休日	26 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 茶の扇 竹翠亭 要問合せ △仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	27 仏滅 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 不動明王	28 大安 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 不動明王	29 赤口 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
30 先勝 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ★永代供養受付定休日	31 友引 ★永代供養受付定休日	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口	5 先勝



月見団子祈祷

日 時／平成29年10月4日 (水)
13時・15時 (30分程度)
会 場／五重塔南 (平成大仏前)

数量限定販売

※祈祷終了後販売(光明殿前)

興正寺謹製

祈祷 月見団子 (3個入り) 500円

興正寺謹製の月見団子を皆様の家内安全、身体健全を祈願し
ご用意致します。